

コンゴ(民)月例報告  
政治関連  
2018年9月

**主な出来事**

- 12日, 主要な野党指導者6名(ベンバ MLC 党首, カトゥンビ元カタンガ州知事, ムジト元首相, カメレ党首, フェリックス・チセケディ UDPS 党首)はブリュッセルで会合を行った。
- 15日, 外務・地域統合省はコミュニケで、「いくつかの政府が 国際刑事裁判所(ICC)の裁判官に圧力をかけていると見受けられる」ことを理由に、「ICC からの脱退も排除しない」と発表した。
- 19日, 独立国家選挙委員会(CENI)は, 大統領選挙立候補者の最終リストを発表, ラマザニ・シャダリ PPRD 常任書記及びフェリックス・チセケディ UDPS 党首を含む21名の候補者が記載された。
- 22日, 北キブ州ベニ市で, ADF(民主同盟軍, ウガンダ系反政府武装勢力)とみられる集団が襲撃を行い, 21名(市民17名, 軍人4名)が殺害された。これを受け保健省は, ベニ地区の現場レベルにおけるエボラ対策活動の一時中断を発表した。
- 25日, カビラ大統領は第73回国連総会で演説し, MONUSCO の実質的撤退の開始を訴え, また, 12月23日の選挙実施と政府による選挙費用の全額出資を繰り返した。
- 26日, カビラ大統領は, ニューヨークでグテーレス国連事務総長と会談した。
- 29日, キンシャサ市で野党集会が開催され, 各指導者は, それぞれ5分から10分の持ち時間で演説を行った。ベンバ MLC 党首及びカトゥンビ Ensemble 代表は海外からビデオ参加した。

**1. 内政**

**(1)大統領選挙立候補状況**

**ア 大統領選挙立候補不受理への憲法裁判所判決**

・3日～4日, 憲法裁判所は, 独立国家選挙委員会(CENI)による大統領選挙立候補者暫定リストで不受理とされ, 憲法裁判所に訴えていた6名に関する判決を行い, ベンバ MLC 党首, ムジト元首相, ギゼンガ PALU 党首及びジャン＝ポール・モカ氏は不受理, バディバンガ前首相とイフォコ元チュアパ州副知事は受理と判定された。

**イ 大統領選挙及び国民議会選挙立候補者最終リストの発表**

・19日, CENI は, 大統領選挙立候補者の最終リストを発表した。同リストには, 25名の立候補者のうち, 最終的に不受理となったベンバ MLC 党首, ムジト元首相, ギゼンガ PALU 党首及びジャン＝ポール・モカの4名を除く21名が記載された。また, これにより, カトゥンビ元カタンガ州知事は大統領選挙から最終的に排除された。

・国民議会選挙及び州議会選挙立候補者の最終リストにはそれぞれ, 15, 355名と19, 640名が記載された。

**(2)コンゴ(民)政府が国際刑事裁判所(ICC)からの撤退を示唆**

・15日, 外務・地域統合省はコミュニケで, 「当地で進行中の選挙プロセスに影響を及ぼしかねないコンゴ(民)内政及び ICC の審理案件に関して, いくつかの政府が ICC の裁判官に対し, 圧力をかけていると見受けられる手がかりをコンゴ(民)政府が有している」ことを理由に, 「ICC からの脱

退も排除しない」と発表した。

### (3)野党の動向

#### ア 野党の会合

- ・7日、主要な野党指導者(フェリックス・チセケディ UDPS 党首, バザイバ MLC 幹事長, ルンビ MSR 党首(「Ensemble」副代表), ファユル ECiDe 党首(「ダイナミック」代表))は、投票機器(machine a voter)等をめぐる野党統一戦略のための会合をキンシャサ市リメテ地区のUDPS党本部で開催した(同会合の内容は非公表)。なお、UNC(カメレ党首)は、同会合の開催を知らされていないとのコミュニケを発表した(10付 Le Phare 紙)。
- ・10日、ルンビ MSR 党首, バザイバ MLC 幹事長, カブンド UDPS 幹事長, マヨ UNC 幹事長, エワンガ FCR 党首(Ensemble 報道官), ルトゥンドウラ MSDD 党首(Ensemble 常任書記), ファユル ECiDe 党首, キュング UNAFEC 党首は野党プラットフォーム「G7」本部で、野党統一戦略構築のための会合を行った(同会合の内容は非公表)。
- ・12日、主要な野党指導者6名(ベンバ MLC 党首, カトゥンビ元カタンガ州知事(「Ensemble」代表), ムジト元首相, カメレ党首, フェリックス・チセケディ UDPS 党首)はブリュッセルで会合を行い、選挙実施に対する9つの要求事項を含む声明を出した。
- ・15日、(不受理となった候補者等を含む)当地野党陣営の大統領選挙立候補者(ベンバ MLC 党首(代理), ファユル ECiDe 党首, カメレ UNC 党首, カトゥンビ Ensemble 代表(代理), マトゥングル CNB 党首, ムジト元首相, フェリックス・チセケディ UDPS 党首(代理)の7名)は、野党陣営の統一等に関するコミュニケを発表し、29日にキンシャサ市で、野党集会を開催すると予告した。
- ・29日、キンシャサ市で野党集会が開催され、各指導者は、それぞれ5分から10分の持ち時間で演説を行い、投票機器の使用拒否及び、約百万件の指紋登録のない選挙人登録への抗議を訴えた。ベンバ MLC 党首及びカトゥンビ Ensemble 代表は海外からビデオ参加した。なお、この集会による事故等は報告されていない。

#### イ ベンバ MLC 党首の動向

- ・10日、ベンバ党首の弁護人は国際刑事裁判所(ICC)に対し、大統領選挙への立候補を不受理としたコンゴ(民)憲法裁判所の決定にかかる緊急請求を提出した。内容は、公職に就く権利の否定は重大な制裁であり、コンゴ(民)当局には ICC と同じ管轄権を行使し制裁を科す権限は無いというもの。これに対し、14日、ICC は、本件は ICC ではなくコンゴ(民)当局が決定すべきであり、本請求を却下する旨判断した。
- ・17日、ICC は、ベンバ党首の「証人の買収」について、12か月の懲役と300,000ユーロの罰金を言い渡した。12か月の懲役については、すでに勤めた刑期で相殺される。

## 2. 外交

### (1)インドネシア官民合同ミッションのコンゴ(民)訪問

- ・20日、インドネシアのハイレベル官民合同ミッション(外務省アフリカ局長, 投資家, 銀行関係者等)がキンシャサを訪れ、シェ・オキトゥンドウ外相と会談した。「シェ」外相は、今月3日から開催された第7回中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)の後、ジャカルタを訪れ、農業を中心とする経済関係の強化を約束していた。インドネシア側は、パーム油を中心とする農業、鉱物資源、インフラセクターでの投資機会を探っている(21日付 ACP)。

### (2)第73回国連総会

- ・25日、カビラ大統領は国連総会で演説し、MONUSCO の実質的撤退の開始を訴えた。また、12月23日の選挙実施と政府による選挙費用の全額出資を繰り返した。
- ・26日、カビラ大統領は、グテーレス国連事務総長と会談した。
- ・28日、カビラ大統領は、シャルル・ミシェル・ベルギー首相及びソングウェ国連アフリカ経済委員

会事務局長と会談した。

### 3. 東部及び大湖地域情勢

#### (1)ブルンジの反政府組織 FNL(国民解放戦線ルワサ派)とコンゴ(民)国軍が交戦

・14日夜、ブルンジの反政府組織 FNL がコンゴ(民)側のカヴィムヴィラ(ブジュンブラの西15キロ)にある国境監視所を攻撃し、コンゴ(民)国軍(FARDC)と交戦が発生、FNL 側に2名の死者が発生した(15日付 AFP)。

#### (2)イツリ州情勢

・16日、イツリ州ジューグ地区のアルベール湖沿いで、何者かが FARDC の陣地を襲撃し、FARDC 兵士2名及び市民6名が死亡、負傷者も発生した。Radio Okapi はこの事件による FARDC 側死者を15名と報じた(17日付 AFP)。

#### (3)北キブ州情勢

・16日深夜、リュチュル地区にあるキワンジャ刑務所の所長とその妻が殺害された(17日付 AFP)。

・22日夜、ベニ市で、ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)とみられる集団が襲撃を行い、21名(市民17名、軍人4名)が殺害された。これを受け保健省は、ベニ地区の現場レベルにおけるエボラ対策活動の一時中断を発表した(24日付 AFP)。

・24日、オイチャ(Oicha)で、ADF と見られる集団が襲撃を行い、市民1名が殺害、17名が誘拐された(25日付 AFP)。

・28日夜、ニーラゴンゴ地区ムタボで、FDLR(ルワンダ解放民主軍、フツ族系のルワンダの反政府武装勢力)と、FDLR と同盟関係にあるマイマイ・ニャトゥラ(フツ族系のマイマイ(自警団的な性格をもった武装集団))の連合が FARDC の陣地を襲撃し、兵士2名と市民2名が殺害されたと、ジケ FARDC 地区報道官が報じた(29日付 AFP)。

・28日夜、ADF はムココ村(ベニ市から約30キロ)を襲撃し、女性2名を殺害したと、キブワナ・ベニ地区長が語った(29日付 AFP)。(なお、10月2日、同襲撃の際に誘拐されていた4名が遺体で発見され、死者は6名となった(10月2日付 AFP))

### 4. その他

#### (1) LUCHA の呼びかけによる投票機器への抗議行動

・3日、投票機器の使用に反対し、「LUCHA(Lutte pour le changement(変化への闘争、若者による民主化推進グループ))が呼びかけた抗議行動に関し、キンシャサ市では、22名の活動家が一時拘束された(キンシャサ州警察長官によると、すぐに釈放された)。また、北キブ州ゴマ市では、同抗議行動は許可されていないとの理由で、治安当局によって激しく解散させられた(3日付 AFP)。

#### (2)コンゴ・カトリック司教会議(GENCO) とルング・ザンビア大統領の会談

・GENCO の司教はザンビアを訪れ、SADC 政治・防衛・安全保障トロイカ議長国であるルング・ザンビア大統領に、選挙プロセスの前向きな点及び懸念事項について説明し、2016年12月31日の政治合意達成に向け、SADC の影響力行使を求めたと発表した(11日付 Le Potentiel 紙)。